

## 文教厚生常任委員会 行政視察報告

期 日 平成 30 年 10 月 24 日から 10 月 26 日  
 視察地および 滋賀県守山市  
 調査事項 「すこやかまちづくり行動戦略」について  
 岐阜県岐阜市  
 「みんなの森 ぎふメディアコスモス」について

日本の医療費に占める生活習慣病の割合は約 4 分の 1 となっており、年間予算約 180 億円の古河市国保特会にあてはめると、約 45 億円が充てられていると推計できる。

守山市は特定健診の無料化を行い、受診率を 3.7%改善させ、その結果、医療費に占める生活習慣病の割合を 7.2%減少させた。

生活習慣病予防ができれば、将来の医療費負担も軽減される。古河市も大英断できるよう、委員会からの提言とさせていただく。

次に岐阜市においては図書館、市民活動交流センター、展示ギャラリーを有する複合施

設を視察させていただいた。施設の稼働率も高く、見習うべき点が多くあった。

教育レベルは、そのまちの図書館に表れる。古河市も大いに参考にされたい。



行政視察（みんなの森 ぎふメディアコスモス）

## 産業建設常任委員会 行政視察報告

期 日 平成 30 年 10 月 30 日から 11 月 1 日  
 視察地および 滋賀県近江八幡市  
 調査事項 VR安土城事業について  
 奈良県橿原市  
 八木駅南市有地活用事業について

当委員会では、滋賀県近江八幡市、奈良県橿原市を訪問した。

近江八幡市の「VR安土城事業」はVR技術を活用し、織田信長が築いた幻の城「安土城」の復元を行うことで、観光・文化振興のツールとして街づくりに役立てていた。新しい時代のツールとして、古河市の観光事業にも取り入れ可能であり、参考になった。

橿原市の「八木駅南市有地活用事業」は、庁舎と観光施設および関連の複合施設の設計、建設、運営等をPFI事業として、一体的に実施されていた。また、駅前にホテルを建設

したことにより周辺地域を活性化させる起爆剤となっていた。幾度かの事業計画中止を経て、中心市街地の活性化と広域振興を成し遂げた関係者の執念とリーダーシップを感じた。



行政視察（橿原市役所 分庁舎）